

I 4月に取り組むこと

1 始業日までの準備	3
2 始業式、入学式での配慮	5
3 教室環境の整備	6
4 4月第1週の活動	10
5 教育課程の編成	11
6 学級経営案の作成	16
7 年間指導計画の作成	18
8 週時程表（時間割）の作成	23

1

始業日までの準備

児童生徒が安心して登校できるように、また、保護者に安心感を与えられるように、学校全体の協力体制を整えて、万全な準備をしましょう。

1 準備すること

- 指導要録
- 補助簿（市町村によって様式が異なります）
- 健康診断票 ※養護教諭に確認
- 出席簿
- 氏名ゴム印
- 名簿、連絡網 ※交流学級担任と相談
- 教室環境
- 教科書（知的障害特別支援は他学級と取り扱いが違います）
※教科書担当者、交流学級担任と確認
- 連絡帳
- 机・いす
- 学級費や教材費の会計事務の処理
※消耗品や交流学級での教材費などの取り扱いは、交流学級担任と確認
- 就学奨励費、準要保護等の確認 ※担当者に確認

2 確認すること

- 出席簿の記名順（学年順、五十音順）※指導要録と順番を合わせておく
- 氏名印、氏名の読み方、漢字等
- 連絡先（緊急の連絡先）
- 通学路（危険箇所）、通学方法（保護者付き添いの有無、徒歩、自動車送迎等）
- 登下校（送迎の場所、時間）、登下校班（同じ班のメンバー、班長等の役割）
- 児童生徒の実態把握、引き継ぎ（資料や前担任からの聞き取りから）
- 入学前の学校・園の担当者からの情報（個別の教育支援計画、個別の指導計画等）
- 保護者の願い・要望（学校生活上の配慮点、特別支援学級で活動する時間と交流学級で活動する時間について、服薬、行事等の参加方法等）

- 交流学級での活動についての学校全体での共通理解（移動の仕方、どの時間を交流学級で活動するか、情緒不安定になったときの対応方法等）
- 特別支援教育支援員の動き（どの時間に誰をどのような方針で支援するか）
- 教科書、副読本、ドリル等の配付数や配付する場所等
- 学校だより、学級通信等の配付場所（配付は交流学級か特別支援学級か）
- 教室内の環境整備、掲示物
- 机、いす等の高さやサイズ
- 市町村教育支援委員会の審議資料 ※重要
- 校内教育支援委員会の審議資料
- 関係機関からの入学（転入）書類等

特別支援学級は、一つの学級であり、通常の学級と同様、適切に運営していくためには、すべての教職員の理解と協力が必要です。

職員会議や学年会等で、児童生徒の特徴や活動の様子等を話すことによって、共通理解を図り、出張等で特別支援学級担任が不在になっても、学習や活動が普段通りに行われるよう協力してもらおうといいですね。



<引き継ぎ資料に目を通しておきましょう>

特別支援学級の担任は、自分が担任する児童生徒の実態把握を丁寧に行うことが大切です。事前に引き継ぎ資料に目を通しておきましょう。

新設の学級や新入生の場合には、引き継ぎ資料が少なく十分理解できないこともあります。そのときには、前年度の担任や特別支援教育コーディネーター等を通じて情報を収集し、児童生徒が始業式や入学式から安心して学校生活を送れるように準備しましょう。



2

始業式、入学式での配慮

始業式や入学式までの期間は、様々な準備に追われ、大変慌ただしいものです。児童生徒が1年の始まりの式にスムーズに参加できるように、学校全体で一つ一つ確認しておきましょう。

学校全体で確認しておきたいこと

- 児童生徒の実態（児童生徒の状態、障害特性、パニックや発作等への対応等）
- 式の流れ、会場、時間、移動方法、座席の位置、周囲に座る友達
- 児童生徒の式前後の動き（待機場所、交流学級との関わり、トイレ、入退場、教室への移動）
- 保護者の動き（教室への移動や待機場所、座席等）
- 教職員の付き添い（誰に付くか、付く場所の確認）
- 呼名（呼名者、呼名の仕方、返事の仕方）
- 教師、特別支援教育支援員の役割分担
- 児童生徒への連絡の時間、場所（式の流れや時間等）
- 配付物や連絡事項（教科書や予定表等）

健康面で配慮が必要な場合には、養護教諭を中心に学校全体で共通理解を図っておきましょう。

学級通信等で、担任の自己紹介とともに、学級の方針を知らせたり、協力をお願いしたりしましょう。保護者との連携では、最初の印象がとても大切です。（P26 参照）

まずは入学式から… 保護者は、担任からの言葉かけやかかわり方、さらには、児童生徒自身の様子を見て、安心してまかせることのできる担任であるかを判断します。十分に配慮した対応と保護者への心遣いを忘れないようにしましょう。

3

教室環境の整備

特別支援学級の教室は、児童生徒が活動しやすいように、実態に応じた環境整備をすることが必要です。

健康・安全面への配慮，学習に集中できる工夫等を考えながら整備しましょう。

1 教室環境の留意点

- 車椅子，歩行等の妨げにならないように，移動のためのスペースを確保する
- 机やロッカー等の角のような突起物にはカバーをする
- 適切な採光を確保する（くもりガラス，ミラーカーテン等の利用）
- 学習活動に集中できるよう，教室前面に注意を取られやすいものがないようにする（道具や教材の置き場，掲示物等）
- ロッカーや棚の一つ一つに，中に入れる用具や遊び道具などを分かりやすくするため，名前のラベルや写真を貼る
- 学習活動や休憩等に効果的に使用できるように，畳やじゅうたん，ソフトマットなどで作られたスペースを用意する（構造化）
- 予告なしの模様替えをしない

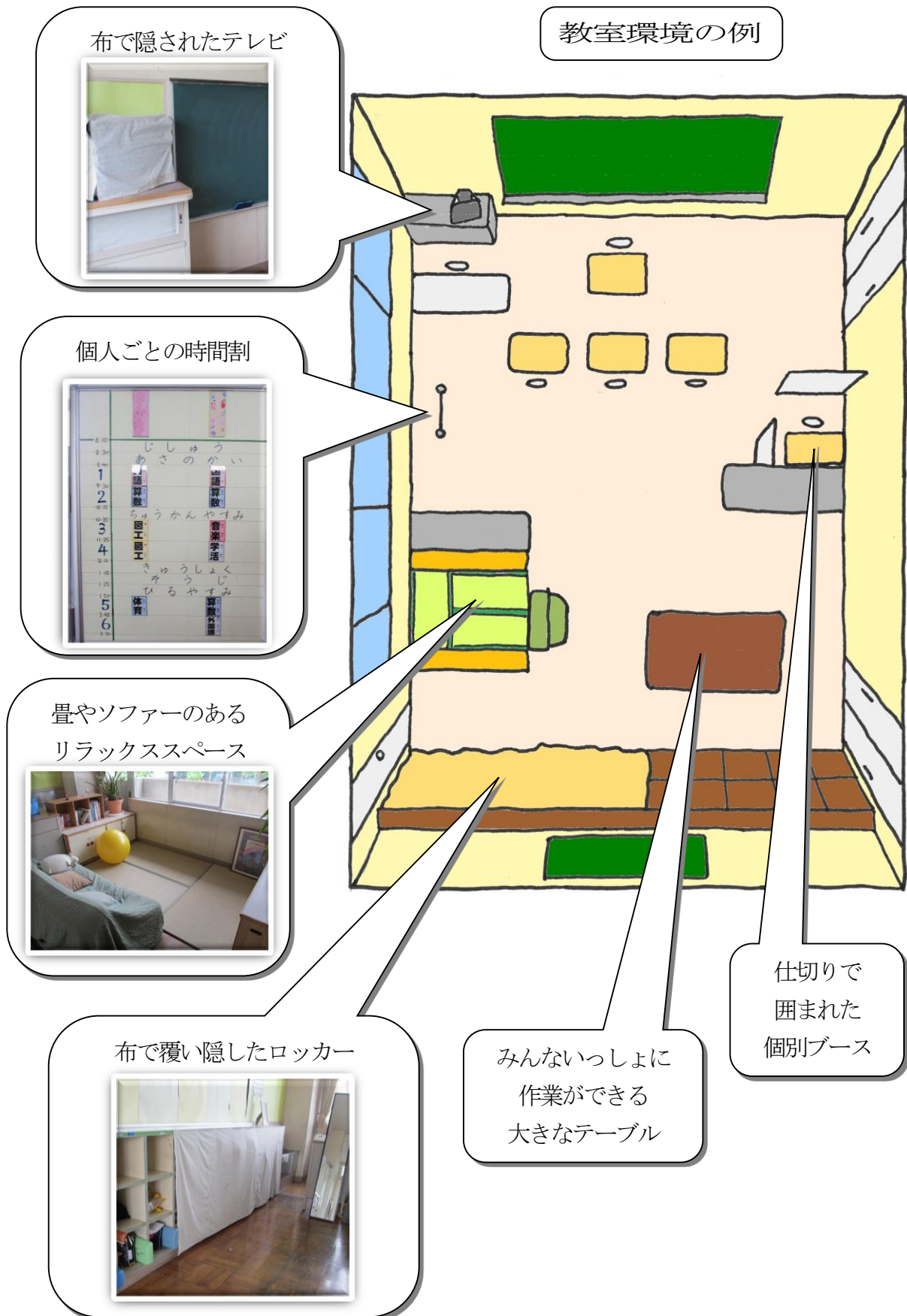
2 教室前面黑板付近の工夫

- 黒板を分割して，学習内容等によって使い分ける
- 1日のスケジュールを文字や写真，絵カード等，児童生徒が分かる形で掲示する
- 明かりの調整や外の風景・ICT機器を隠すためのカーテン

3 いろいろなスペースづくり（学校の実態に応じて工夫を）

- 一人で学習したいとき，着替え，クールダウンの時に使う個別ブース
- 畳やソファのあるリラックススペース
- 友達とかかわったり，集団で作業をしたりするための大きなテーブル，

4 教室環境の例



<ロッカー>



整頓の仕方を写真で示す



使用しない時間はカーテンや布で覆う

<道具箱>



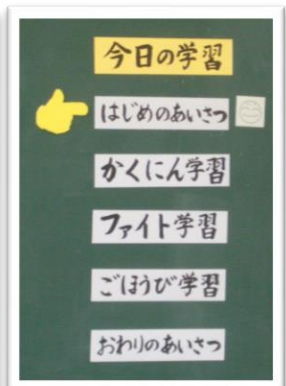
底に整頓できた状態の写真を貼る

<机や椅子の位置>



正しい位置を線で示す

<スケジュール>



個人ごとの1日の時間割, 朝の支度の手順, 1時間の授業内の学習内容の順番を提示する

<側面の壁面の利用> ※前面の掲示物は必要最小限にとどめて, 常時の掲示物は側面を利用する



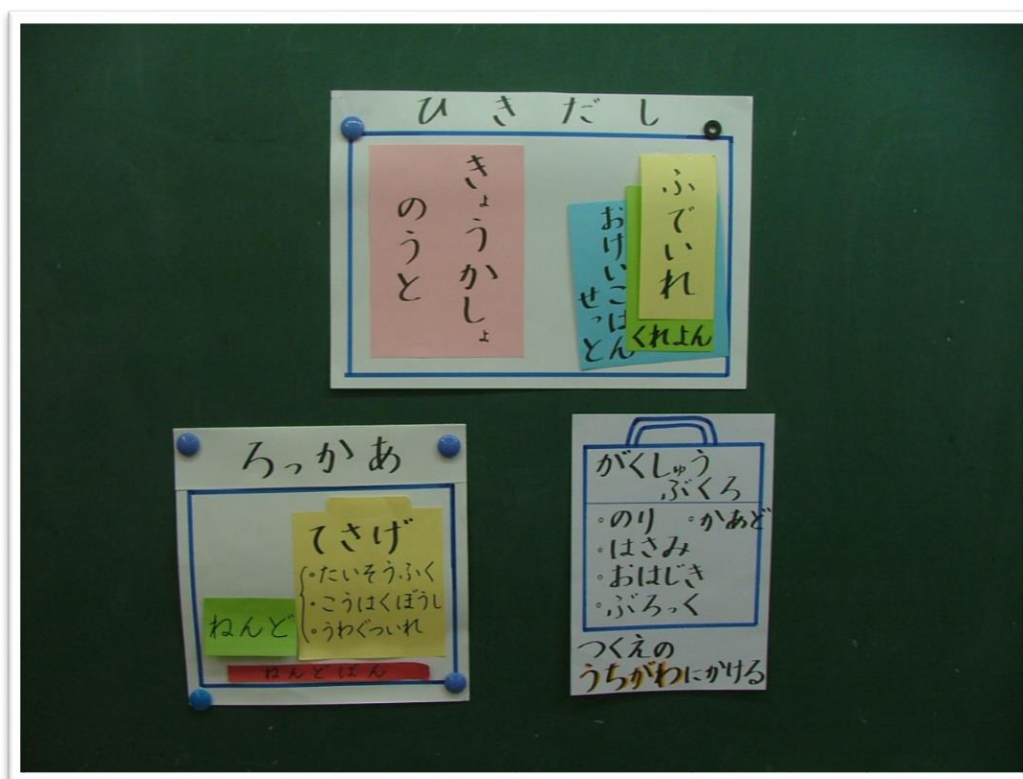
方角・方向を表す言葉 (教室からみた位置で示す)



正しい座り方を視覚的に示す

5 その他

- 整理整頓の仕方を図や写真で掲示する



<整理整頓が苦手な子はいませんか？>

自分のマークを決めたり、色を決めたりして、自分だけの目印を決めることで自分に割り当てられた場所が理解しやすくなる子もいます。また、ロッカーや引き出しには、入っている物の名称や写真・イラスト貼っておいてもよいでしょう。ちょっとした工夫で準備や片付けが上手にできるようになります。置くところを固定し、どこに何があるかが誰もが分かるようにすることがポイントです。

4

4月第1週の活動

この時期には、登校してから下校するまでの基本的な日課を作りましょう。この一日の流れを基本として、一週間の学校生活の流れを工夫していくとよいでしょう。

学校行事や交流学級への参加の仕方など、戸惑うことがあるかもしれません。わからないことは周りの先生方に確認しながら進めていきましょう。

1 すぐに確認すること

- 登校後は、交流学級、特別支援学級のどちらに行くのか ※交流学級担任と
- ランドセルや鞆、学習用具はどちらに置いておくのか ※交流学級担任と
- 朝の会、帰りの会、給食、掃除はどちらで活動するか ※交流学級担任と
- 健康観察はどちらで実施するのか ※交流学級担任、養護教諭と
- お便りの受け取りや、連絡帳記入はどちらで行うのか ※交流学級担任
- 基本的な1日のスケジュールはどうするか ※交流学級担任と
- 交流及び共同学習を実施する教科等はどうするか ※交流学級担任と
- 情緒不安定になったときの対応方法 ※全教職員の共通理解が不可欠！

2 すぐに取り組むこと

- 登校から下校まで、児童生徒が見通しをもって生活できるように、基本的な流れを一定にしたスケジュールをつくる
- 児童生徒の興味・関心のある活動を把握し、実態に応じて工夫して指導する
- 昨年度の日課を参考にしながら、児童生徒の実態に応じて柔軟性のある日課の工夫をする

4月の第1・2週は、多くの学校で臨時の時間割で授業が進むことがあります。子どもや保護者が見通しをもち、安心して生活できるように、交流学級の予定を確認しながら、2週間程度の臨時の時間割を作っておくことが必要です。

また、どの活動をどの場所（特別支援学級か、交流学級か等）で取り組むのかについては、子ども本人や保護者と事前に十分な共通理解を図っておくことが必要不可欠です。



5 教育課程の編成

特別支援学級は、小・中学校に設置された学級なので、小・中学校学習指導要領に基づいて教育課程を編成することが原則ですが、児童生徒の実態によっては、通常の学級の教育課程を適用することが適切でない場合があります。その場合には、特別支援学校の学習指導要領等を参考にしながら、特別の教育課程を編成することができます。

1 教育課程を編成するに当たっての基本的な考え方

特別支援学級に係る教育課程については、特に必要がある場合は、特別の教育課程によることができます。(学校教育法施行規則第138条)

特別支援学級において特別の教育課程を編成する場合には、学級の実態や児童の実態等を考慮の上、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領を参考とし、例えば、障害による学習上又は生活上の困難の改善・克服を目的とした指導領域である「自立活動」を取り入れたり、各教科の目標・内容を下学年の教科の目標・内容に替えたり、各教科を、知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の各教科に替えたりするなどして、実情に合った教育課程を編成する必要があります。(小学校学習指導要領解説総則編)

2 確かめてみましょう

教育課程の編成手順について

- 学級教育目標の設定
- 指導形態の決定
- 指導内容の選択・組織
- 指導計画の作成
- 交流学級の教育課程との調整
- 授業時数の配当
- 週時程表の作成

実態把握について

- 学年相当の学習が困難だと予想される教科は何か
- 交流及び共同学習で履修可能な教科は何か
- 下学年の教科内容で履修可能な内容は何か
- 教科毎でなく各教科等の要素を取り入れ、単元化した指導が効果的なものは何か
- 身辺処理の状態(着替え, 食事, 排泄等)

3 児童生徒の実態に合わせた教育課程の編成

教育課程（特別支援学級と交流学級）を考えると、交流学級との交流の時間（「各教科」、「朝の会」、「帰りの会」、「給食」、「清掃活動」等）における活動内容について、教務主任、交流学級担任や教科担任と打ち合わせをすることが大切です。

児童生徒の知的障害の状態に即した指導を進めるため、各教科、道徳、特別活動及び自立活動（以下、「各教科等」という）の一部又は、全部を合わせて指導を行う場合（各教科等を合わせた指導）と、各教科等それぞれの時間を設けて指導を行う場合があります。

各教科等を合わせた指導は、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習として実践されてきています。

新設の特別支援学級においては、他の学校の教育課程を参考にしながら、特別支援学級の経験のある教員や教務主任と相談し教育課程の編成を進めていくことが大切です。

4 教育課程編成の届け出について

特別支援学級において、特別の教育課程を編成する場合には、各市町村の教育委員会にあらかじめ届け出ることになっています。



【教育課程編成の届出書類の記入例（1ページ目）】

(別紙様式1-2)

(聴覚、言語障害、自閉症・情緒障害の特別支援学級用)

平成〇〇年度（言語障害）特別支援学級教育課程実施方法

学校名 〇〇市立〇〇小学校

学校長名 〇〇 〇〇 印

1 学級の名称 〇〇学級（茨城） 〇〇学級（水戸）

※ 同一種類の学級が2学級以上ある場合
・「学級の名称」—「学級名(担任名)」と記入

2 学級数 2学級

校内児童生徒総数	431名
在籍児童生徒数	9名

3 設置年月日 平成〇年4月1日

4 学級担任について

職・氏名	年齢	性別	教職員 年数	特別支援学級 担当年数	取得免許状	週担当時間
教諭 茨城太郎	32	男	7	5	小一種 特支二(知・肢)	特別支援学級 20時間
						通常の学級 4時間
教諭 水戸花子	35	女	10	8	小一種 特支二(知・肢・病)	特別支援学級 19時間
						通常の学級 5時間

5 学級の編制状況

(1) 学級の児童生徒

担任名 茨城 太郎

障害区分	学年等												計	
	1		2		3		4		5		6		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
構音障害	1	(1)											1	(1)
吃音			1				2						2	1
言語発達の違い	1												1	
計	2	(1)	1				2						4	(1)
合計	3	(1)					2						5	(1)

※ 学級在籍児童生徒数を入力する。なお、学校基本調査の数と一致すること。

※ 他校から通級し、指導を受ける児童生徒については、()内に入力し、外数とする。

6 学級経営の方針

- (1) 児童の実態及び能力を的確に把握し、個に応じた指導目標・計画を立て指導に当たる。
- (2) 児童が意欲的に取り組める場の設定、教材教具の開発に努める。
- (3) 保護者、交流学級担任、医療機関、関連諸機関との連携を図る。



【教育課程編成の届出書類の記入例（2ページ目）】

7 学級の指導の重点

- (1) 発音の正誤について自己弁別能力をつけるとともに、正しい発音を身につける。
 (2) ことばの流暢性を高め、ことばへの不安感を軽減するとともに、話す意欲を高めるようにする。
 (3) ことばの刺激を多く与え、言語学習に必要なレディネスを強化する。
 (4) 個別指導や小集団活動を通してコミュニケーション能力を伸ばす。

8 授業時数配当

(1) 年間授業時数

教科等 年間授業時数	各教科等													各教科等を合わせた指導				計	
	国語	社会	(数学) (算学)	理科	生活	音楽	(美術) (図画工作)	(技術・家庭) (保健体育)	外国語	道徳	外国語活動	総合的な学習の時間	特別活動	自立活動	生活単元学習	作業学習	日常生活の指導		遊びの指導
1年	136		136		102	68	68		102		34		34	170					850
4年	140	90	175	105		60	60		105		35	70	35	105					980
年																			0
年																			0
年																			0
年																			0

※ 「年間授業時数」については、可動週数ではなく、年間35週として算出し、在籍する児童生徒について学年ごとに入力する。ただし、小学校1年生は、年間34週で算出する。

※ 在籍児童生徒について入力する。（通常の学級に在籍し指導を受ける児童生徒は除く。）

※ 各教科等を合わせた指導は、児童生徒が知的障害を伴い、特に必要がある場合は行う。

9 週時程表

(1) 指導を受ける児童生徒について

担任名 茨城 太郎

番号	児童生徒名	学年	男女別	知的障害の有無	学校名
①	A	1	男	×	
②	B	1	女	×	
③	C	1	男	×	
④	D	4	男	×	
⑤	E	4	男	×	
6	他校通級 a	5	男	×	〇〇小学校
7	他校通級 b	6	男	〇	〇〇小学校
8	教育相談①	3	女	×	
9	教育相談②	3	男	×	

番号	児童生徒名	学年	男女別	知的障害の有無	学校名

※ 同じ種別の学級が2学級以上設置されている学校にあっては、学級ごとに作成する。

※ 「番号」について

・ 学級在籍児童生徒については、番号を〇で囲む。

※ 児童生徒名について

・ 在籍児童生徒は、A, B, C・・・と入力する。

・ 他校通級は、他校通級a, 他校通級bと入力する。

なお、a, b・・・は、児童生徒を表す。

・ 自校の通常学級に在籍する児童を指導する場合は、「教育相談①」、「教育相談②」と入力する。

なお、①, ②・・・は児童生徒を表す。

【教育課程編成の届出書類の記入例（週時程表）】

(2) 週時程表

担任名 茨城 太郎

曜日 校時	月		火		水		木		金	
	1	小集団	A	合同	D	個別	A	小集団	A	個別
小集団		B	合同	E			小集団	B		
小集団		C					小集団	C		
2	個別	他校通級a	個別	教育相談①	個別	B	個別	他校通級b	個別	教育相談a
3	小集団	D	個別	C	通常	B	個別	教育相談②	通常	(音楽)
	小集団	E								
6										

※ 特別支援学級担任が通常の学級で児童Bを指導・支援する場合

※ 特別支援学級担任が在籍する児童生徒がいない学級で音楽の授業を行う場合

- ※ 同じ種別の学級が2学級以上設置されている学校にあつては、学級ごとに作成する。
- ※ 担当者の週時程表として作成し、学習の形態と「9 週時程表 (1) 指導を受ける児童生徒について」の児童生徒名を記入する。
- ※ 授業の形態が具体的にわかるように「個別」、「小集団」、「合同」（他の学級と学習し、当該学級担任が指導または支援をする場合）「通常」（通常の学級で指導・支援を行う場合）の別を記入する。
- ※ 担当者が、在籍する児童生徒がいない学級で授業を行う場合は、授業の形態を「通常」

学級経営案の作成

学級は、児童生徒が毎日、学校生活を営む中心となる場所です。学級担任は、児童生徒一人一人をよく理解し、指導目標の達成を目指して、組織的に学級を経営していくことが基本です。

学級経営案は、学校や学年の目標に即し、児童生徒の障害の状態及び特性等を考慮して、年間を通しての学級経営の目標や方針を明確にしたものです。特に、特別支援学級の学級経営案においては、児童生徒の実態を丁寧に把握し、具体的な指導の手立てを明確にすることが大切です。また、特別支援学級の理解を図っていく工夫も必要です。各学校や学年の様式に基づいて記入しましょう。

学級経営の主な内容

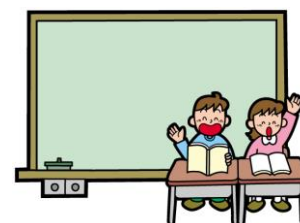
- 指導計画を立て、展開を図ること
 - ・教育目標に関すること
 - ・教育課程の編成、実施に関すること
 - ・指導内容、方法に関すること
 - ・児童生徒と教員の関わりに関すること
 - ・児童生徒の精神的、身体的な安全に関すること
- 教育環境の整備を図ること
 - ・教室の整備や安全管理に関すること
 - ・学級事務の管理運営に関すること
- 保護者や関係機関との連携を図ること
 - ・家庭や保護者との連携に関すること
 - ・関係機関や地域社会との連携に関すること

1 作成のポイント

- 在籍する児童生徒の実態を丁寧に把握しましょう。
障害の状態や特性、学級の傾向、取り巻く環境等
- 目指す児童生徒像を明確にしましょう。
本人の願い、保護者の願い、担任の願いのすりあわせ
- 目標達成に向けた方針や手立てを具体的に考えましょう。
教育課程、指導計画、環境整備、交流及び共同学習、家庭や地域、関係機関との連携等

2 経営案の項目例

①学級目標 ・目指す児童生徒像
②学級の実態 ・学級の構成や傾向, 雰囲気 ・個々の児童生徒の障害の状況や学習の様子等 (個別の指導計画として作成される場合もあります)
③学級経営の方針・指導の重点 ・学習指導面 ・生活指導面 ・特別活動, 学校行事・集会等への参加の仕方 ・健康安全指導, 避難訓練 ・教室環境, 備品 ・交流及び共同学習 ・家庭, 地域, 関係機関との連携 ・その他, 特記事項等



3 学級経営の評価

学級の教育目標や経営方針について評価の観点を設定し, 計画的・継続的に評価を行い, 学級経営の改善向上に役立てていきましょう。

評価の観点の設定に当たっては, 目標や方針と具体的な実践の結び付きを明確にしておくことが大切です。

日常の実践に当たっては, 「目標とのつながりはどうか」「児童生徒のために役立っているか」「別の方法はないか」等, 常に反省を加えながら学級経営の改善に努めることが大切です。また, 継続的に記録をとることに務め, その結果を改善・向上に役立てていきましょう。学級経営案に学期ごとの反省や評価を書き入れていくことで, 学年末の引継ぎに活用することもできます。

4 学級経営案の取り扱いについて

学級経営案には, 児童生徒の個人情報があるまま表記されている場合が多いので, 取り扱いについては特に配慮が必要です。

児童生徒に寄り添いながら, 目の前の児童生徒たちのために何ができるのかをとことん追求できるのが特別支援学級の醍醐味ですね。



7

年間指導計画の作成

年間指導計画は、年間を通して、学級でどんな指導をしていくのかを明確にした具体的な計画です。作成に当たっては、児童生徒の実態に即して、教育目標の達成に適した指導の形態を工夫し、小学校、中学校及び特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の教育内容を参考にして、具体的な指導内容を考えていきます。

1 作成のポイント

- 一人一人の障害の状態や発達段階、特性を十分に把握し、実態に応じた計画を立てましょう。
- 学校・学年・学級の行事等を考慮し、計画を立てましょう。
- 指導方法や指導形態等を考えながら計画を立てましょう。
- 「教科別・領域別の指導」と「各教科等を合わせた指導」のバランスを考え、関連を図りながら計画を立てましょう。
- 教科・領域ごとの系統性や順序性を考えて計画を立てましょう。
- 他校の計画等も参考にしてみましょう（特に新設の学級・教室の場合）。

2 個別の指導計画との関連

年間指導計画は、年度当初に立て、児童生徒の実態に応じて変更や修正を加えながら活用していくことが大切です。特に「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」の内容を考慮して活用していくことが重要です。

学習活動を工夫し、児童生徒が具体的な生活経験を積み重ね、生活技能を高めたり、生活習慣を身につけたりできるように配慮しましょう。

3 「自立活動」について

「自立活動」は、学校の教育活動全体を通じて行いますが、児童生徒の実態に応じて、自立活動の時間を設定して行います。

＜年間指導計画の例①（小学校：自閉症・情緒障害特別支援学級）＞

平成 年度 ○○学級年間指導計画		(自閉症・情緒学級 3・5・6年在籍)											
月		3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	7月	6月	5月	4月	3月
教科 学年	3年	どきん きつぎの簡読	本で調べてほ うこくしよう	はしるしるし かるた	三年とうげ	すがたをかえ る大豆	ちいちゃん かのおくり	わたしは ローマ字	海をかつはせ 本は女たち	気になる記号 ばけくらべ	イルカのはり ありの行列	どきん きつぎの簡読	3月
	5年	丘の上の学校で あめ玉 のどがかわた	わいせんし 複合語	詩 ゆなやかにつなが るインターネット	本は女達 千年の釘にい どむ 雪女	大造じいさん とガン 天気を予報する	和語・漢語・ 外来語	われは草なり 豊かな言葉の使い 手になるために	次への一歩	百年後のふる さとを守る	見立てる 生き物は甲形 声出して読もう	丘の上の学校で あめ玉 のどがかわた	5年
	6年	せんねんまん ねん カレーライス	海の命 海へ	言葉は動く 自分を見つめ 直して	覚えておきた 言葉 天地の文	やまなし 『鳥獣図』を 読む	動物の成り立ち 生活の中の敬 語	たのしみは 平和について 考える	伝えられてき たもの 狂言柿山伏	ようこそ、わた したちの町へ	感情 生き物はつな がりの中に	せんねんまん ねん カレーライス	6年
算 数	3年	3けたやめけた のたし算とひ き算	口を使った式 どんな計算を するのかよ	2けたの数 かける計算 二等辺三角形 と正三角形	1000より大 さい数 暗算	重さの単位	あまりのある わり算 長さ 小数	分数 円と球	何秒かかるか な	ぼうグラフと ひょう わり算	かけ算 時ごとと時間 かけ算の筆算	3けたやめけた のたし算とひ き算	3年
	5年	何時、何時半 何分 100までの数	くぼりかた わがわがた	重さ	三角形と四角 形	くり上がりの あるたし算	表とグラフ	長さ	くり下がりの ないひき算	くり上がりの あるたし算	かけ算 九九の復習 長さ	何時、何時半 何分 100までの数	5年
	6年	対称な図形	6年間のまとめ	量の単位	およその形と面積 資料の調べ方	比例と反比例	拡大図と縮図 文字を使った式	場合の数 比	速さ 角柱と 円柱の体積	分数のわり算 円の面積	分数のかけ算	対称な図形	6年
自 立 活 動	身体の動き	卒業進級を祝 おう	卒業するあな たちへ 生きる 言葉の橋	作って遊ぼう 冬の遊び	↑	落花生を食べ よう	サツマイモを 食べよう	運動会	ジャガイモを 食べよう		落花生	すくすく育て ジャガイモ、 サツマイモ	身体の動き
	人間関係の形成	↑						いろいろな遊びやゲーム					人間関係の形成
	心理的な安定 コミュニケーション	↑ お話タイム		お話タイム		お話タイム	お話タイム	ソーシャルスキルトレーニング					心理的な安定 コミュニケーション

〈年間指導計画の例②（小学校：知的障害特別支援学級）〉

平成__年度		6年		教科等を合わせた指導	
年間指導計画		算数		生活単元学習	
教科指導		社会		作業学習	
4	国語 つつけてみよう きつつきの両売 漢字の音と訓	日本の歴史 1 米作りの村から古墳のくにへ 2 聖武天皇と奈良の大仏 2 聖武天皇と奈良の大仏 3 源頼朝と鎌倉幕府 3 源頼朝と鎌倉幕府 4 3人の武将と全国統一	わり算 三角形と四角形 長さ かけ算のひっ算	4月のカレンダー 自己紹介をしよう 野菜を育てよう（年間） 5月のカレンダー 野菜を育てよう（年間） はたおりをしよう	野菜を育てよう（年間）
5	ありの行列 漢字の広場① 国語辞典をばおう わたしたちと小鳥とすずと おもしろいものを見つけた くわくする言葉 漢字の広場② 道あんないをしよう	源頼朝と鎌倉幕府 3人の武将と全国統一	ぼうグラフと表 10000より大きい数	6月のカレンダー 野菜を育てよう（年間） ひまわり集会に参加しよう（合同遠足）	野菜を育てよう（年間）
7	三年とうげ 本は友だち 漢字の広場③	徳川家光と江戸幕府	2けたのかけ算	7月のカレンダー 野菜を育てよう（年間） ひまわり集会に参加しよう（合同遠足）	野菜を育てよう（年間）
9	キリン へんとつくり 「分類」ということ	江戸の文化をつくりあげた人々 7 明治維新をつくりあげた人々	あまりのあるわり算 運動会 きまわりをみつげよう 長さ 長さ ふくしゅう3	9月のカレンダー 野菜を育てよう（年間） かんぱろろ運動会！	野菜を育てよう（年間） 学校を花でいっぱいにしよう
10	反対の意味の言葉 ちいちゃんのかげおくり こそあど言葉 漢字の広場④ すがたをかえる大豆 食べ物はかせになろう カンジーはかせの音訓遊び	8 世界に歩み出した日本 9 長く続いた戦争と人々のくらし	長さ 長さ ふくしゅう3	10月のカレンダー 野菜を育てよう（年間） ひまわり集会に参加しよう	野菜を育てよう（年間） 学校を花でいっぱいにしよう
11	すがたをかえる大豆 食べ物はかせになろう カンジーはかせの音訓遊び	10 新しい日本、平和な日本へ	かけ算のひっ算	11月のカレンダー 野菜を育てよう（年間）	野菜を育てよう（年間） 学校を花でいっぱいにしよう
12	せつめい書を作ろう 漢字の広場⑤	わたしたちの生活と政治 1 わたしたちの願いを実現する政治	10000より大きい数 どんな計算するのかな ふくしゅう4	12月のカレンダー 野菜を育てよう（年間）	野菜を育てよう（年間） 学校を花でいっぱいにしよう
1	名前をつけよう 漢字の意味 たから物さがしに 漢字と友だち 漢字の広場⑥	2 わたしたちのくらしと日本国憲法 世界の日本 1 日本と関係の深い国々	重さ	1月のカレンダー 野菜を育てよう（年間）	野菜を育てよう（年間） 学校を花でいっぱいにしよう そうきんをぬおう
2		世界の平和と日本の役割	重さ 重さ この形 そろばん	2月のカレンダー 野菜を育てよう（年間） ひまわり集会に参加しよう	野菜を育てよう（年間） 学校を花でいっぱいにしよう
3	もちもちの木	世界の平和と日本の役割	そろばん 公園のそうじ 3年生のふくしゅう	3月のカレンダー 野菜を育てよう（年間） お別れ会をしよう	野菜を育てよう（年間） 学校を花でいっぱいにしよう

<年間指導計画の例③-1 (中学校：知的障害特別支援学級) >

月	生 活	作	業	学 級 活 動
4	・私たちの学級	ミニトマト・パッションフルーツ・じゃがいも・ゴーヤ・なす 野菜づくり サルビア・マリゴールド・ひまわり・パンジー・ゼラニウム・チューリップ・観用植物 草花栽培・花壇手入れ	木工・金工・陶芸 小物作り・工作・手芸 調理	・係を決めよう ・1年生を迎える会
5	・生活と決まり			・決まりを守ろう ・修学旅行(3年) ・遠足(1年)
6	・身体の成長と健康			・梅雨時の衛生 ・清掃の仕方 ・宿泊学習(2年)
7	・夏休みの計画			・市内交流学習会 ・1学期の反省 ・夏休みの生活
8				
9	・体育祭			・体育祭 ・係の仕事
10	・文化祭 ・合唱コンクール			・文化祭 ・合唱コンクール
11	・〇〇市文化祭			・〇〇市文化祭作品展 ・親子奉仕作業
12	・年の暮れ ・冬休みの計画			・2学期の反省 ・冬休みの過ごし方
1	・新年を迎えて			・お年玉の使い方 ・立志のつどい(2年)
2	・節分 ・3年生を励ます会			・3年生を励ます会
3	・1年間のまとめ			・1年間の反省 ・春休みの計画

<年間指導計画の例③-2 (中学校：知的障害特別支援学級) >

月	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
4	○作文 ・中学生(～年生)になって ○日記 ○辞書の引き方	○学校の位置 ○学校のまわりのようす ○私たちの市町	○時計 ○時間と時刻	○生き物の春の暮らし ・植物や動物のようす	○アルファベットの歌 ○ローマ字
5	○俳句 ○修学旅行の思い出 ○丁寧な話し方	○日本を詳しく調べよう	○計算機の使用方 ○100マス計算	○水のすがたの変わり方 ・空気中の水じょうき ・水をあたためた時の変化 ・水を冷やした時の変化	○身体の名称 ○色の呼び方
6	○手紙, はがきの書き方 ○・・・先生への手紙 ○宿泊学習の思い出	○世界を詳しく調べよう	○収入と支出 ・お金の種類 ・こづかい帳		○アルファベットを書く ・大文字 ・小文字
7	○電話のかけ方 ○暑中見舞いをかこう	○発表会をしよう(それぞれのテーマについて)	○重さくらべ ・gとkg	○生き物の夏の暮らし ・動物や植物のようす	○身近な物の名前
8					
9	○夏休みの思い出 ○いろいろな標識	○縄文時代～平安時代を調べよう	○整数と小数	○てこのはたらき ・てこのはたらき ・てこの3点の位置 ・てこの利用 ・てこのつりあい	○自分の名前 ○曜日の名前
10	○メモの取り方	○鎌倉時代～江戸時代を調べよう	○文章問題		○花・果物の名前
11	○かべ新聞を作ろう	○明治時代～平成までを調べよう	○表とグラフ ・棒グラフ ・折れ線グラフ	○生物の秋の暮らし ・動物や植物のようす	○動物の名前
12	○詩 ○年賀状を書こう	○発表会をしよう(それぞれのテーマについて)	○いろいろな形	○生物の冬の暮らし ・植物や動物の暮らし	○月の言い方
1	○説明文 「はじめのころの自動車」 ○物語文 「ないた赤おに」	○世界の歴史を調べよう	○長さくらべ ・mm ・cm ・m	○人や動物のからだ ・呼吸 ・消化と吸収 ・血液めぐり方	○生活の中の英語集め
2	○げき 「ねぼうしたねこ」	○私たちの権利について調べよう	○買い物 ○正の数・負の数		○生活の中の英語集め
3	○文集を作ろう 「1年間の思い出」	○1年間のまとめをしよう	○分数	○観察のまとめ	○一年間の総まとめをしよう

8

週時程表（時間割）の作成

週の授業時間と指導の形態ごとの時数、学校や学年の週時程や特別教室の使用割当、交流及び共同学習などの状況を考慮しながら、教務主任や学年主任とともに作成します。

指導内容のまとめりや学習活動の内容等を、子どもの実態や学校の実情に合わせて、弾力的に編成することができます。

1 時間割作成の手順（例）

	内 容
1	学級や児童生徒の実態に応じ、各教科等を合わせた指導（日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習）の中から、学級全員で取り組むものや時数を決める。
2	年間標準授業時数を勘案しながら、各教科等を合わせた指導以外の教科等の時数を計算し、週当たりの時数を決める。
3	学級全員で取り組む各教科等を合わせた指導を時間割に設定し、通常の学級の教育課程を編成する教務主任等とともに検討する。
4	教務主任等に、交流学級の時間割の調整や、中学校においては特別支援学級担任の通常の学級での担当授業の調整をお願いする。
5	特別支援学級と交流学級の時間割案を調整しながら、お互いの学級の各教科等の時間を設定し、完成させる。

2 作成のポイント

- 特別教室の割当など学校全体の大枠の週時程を調整する段階から、特別支援学級の時間割を考慮、検討してもらいましょう。（複数学年の児童生徒が学ぶ特別支援学級の週時程表の作成については、学校全体の協力が必要不可欠です！）
- 交流及び共同学習については、児童生徒にとって必要な内容を十分吟味して取り組みましょう。
- 交流学級の担任、保護者の理解・協力を得ながら決定しましょう。
- 日常生活の指導など継続性のある活動は、必要に応じて帯状に設定しましょう。
- 生活単元学習や作業学習は活動のしやすさを考え、複数時間続きで設定することも検討しましょう。
- 児童生徒に分かりやすい「時間の名前」を工夫しましょう。（例：自立活動→のびっこタイム）

知的障害特別支援学級の時間割編成の例

〈小学校1年生・4年生在籍〉

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導			★道徳	★音楽
	★社会	★道徳	★理科	算数	国語
2	★体育	★生活	算数	★生活	★生活
	国語	算数	★総合	国語	算数
3	★音楽	生活単元	★図工	算数	国語
	算数		国語	★図工	★体育
4	国語	生活単元	☆図工	国語	算数
	★体育		★体育	★図工	★理科
5	算数	☆学活	国語	生活単元	☆体育
	★音楽	★理科	★社会		★総合
6		★社会			☆総合

上段：1年生 下段：4年生

★交流学級で学習する時間 ☆交流学級の授業に支援学級の担任が一緒に入る時間

〈中学校1年生在籍〉

	月	火	水	木	金
1	国語	外国語	数学	国語	外国語
2	数学	国語	★総合	数学	国語
3	社会	数学	生活単元 学習	★保体	理科
4	理科	★美術		★道徳	社会
5	自立活動	★保体	★音楽	☆技・家	★総合
6	★保体	★学活		☆技・家	作業

★交流学級 ☆交流学級の授業に支援学級の担任が一緒に入る時間

知的障害特別支援学級では、特別支援学校の各教科等で編成する場合には、各教科等を合わせた指導、教科・領域別の指導を組み合わせて編成することが必要になる場合があります。



自閉症・情緒障害特別支援学級の時間割編成の例

〈小学校2年生・6年生在籍〉

	月	火	水	木	金
1	国語	国語	国語	国語	生活
	理科	理科	社会	国語	総合
2	音楽	国語	図工	図工	生活
	理科	国語	家庭	図工	総合
3	体育	自立活動	体育	音楽	算数
	自立活動	音楽	家庭	自立活動	算数
4	算数	生活	国語	算数	国語
	算数	社会	国語	算数	国語
5	自立活動	算数	算数	道徳	学活
	体育	算数	算数	道徳	体育
6				国語	
	社会			外国語	学活

上段：2年生 下段：6年生

- ◇ 第2学年：自立活動の時間は、国語から1単位時間、体育から1単位時間を充てている。
教科は、全て第2学年の学習内容である。
- ◇ 第6学年：自立活動の時間は、国語から1単位時間、体育から1単位時間を充てている。
教科は、算数のみ下学年対応にしている。

〈中学校3年生在籍〉

	月	火	水	木	金
1	国語	社会	英語	理科	数学
2	英語	数学	技・家	社会	国語
3	数学	保体	理科	道徳	理科
4	音楽	自立活動	数学	総合	社会
5	理科	英語	国語	総合	英語
6	社会	美術	保体		学活

- ◇ 自立活動の時間は、英語から1時間を充てている。教科は、全て学年対応である。

生活単元学習が時間割にないけど、実施しないのかなあ...?



自・情の学級は、知的障害がないことが前提なので、知的障害特別学校の教育課程「生活単元学習」が時間割に出てくることは、原則としてないですよ。



自立活動の授業時数は、児童生徒の障害の状態に応じて適切に定められることとされており、明確な基準が示されているわけではありません。しかし、年間総授業時数は学年ごとに定められているので、自立活動の時間を設定すると、その授業時数の分、他の授業時数を削減することになります。

このため、児童生徒一人一人の障害の状態等に即した適切な指導を行うためには、その児童生徒にとって何が優先されるべきかを十分に考慮し、バランスのよい時間割を編成することが大切です。

学級通信の発行

学級通信は、行事予定のお知らせの他に授業の様子などを掲載することで児童生徒の活動記録としても活用できます。学級通信を活用して、児童生徒の頑張っている姿を積極的に伝えていきましょう。特に、保護者は学校での児童生徒の様子に大きな関心を抱いています。学校の様子を知っていただくことが理解と協力につながっていきます。また他の児童生徒、教職員等にも知ってもらう良い機会ともなります。作成する際は、読む人が次号を楽しみにできるように意識しましょう。

1 内容についてのポイント

- 児童生徒の作品等を掲載したり、学級通信の作成に児童生徒が積極的に参加したりできるように工夫しましょう。
- 写真や作品の掲載では、児童生徒に偏りがないか確認しましょう。
- コラム的に担任や保護者、他の教職員等の思いや考えなどを取り上げましょう。

2 発行に際してのポイント

- 外部に情報を公開することになるので、プライバシーや個人情報の保護に配慮しましょう。
- 名前や顔写真の掲載について、児童生徒本人や保護者に事前に了解を得ましょう。
- 児童生徒の作文等の誤字脱字などを確認してから掲載しましょう。
(学習の一環として本人と一緒に確認することも大切です)
- 保護者だけでなく、全校の児童生徒や教職員、地域の人たちに理解を図るために、配り方や校内掲示の仕方を工夫しましょう。
- 内容や文章表現について、学年主任や管理職等に確認してもらってから出すようにしましょう。

スマイル通信

〇〇小
〇〇学級
H23.4.6
第1号

進級おめでとうございます！



校庭のさくらが満開になった今日、新学期のスタートを切りました。
進級おめでとうございます。今年度は、教室が **3** 階になりました。**2** 階のときに比べると窓から見える景色も一段と、すがすがしく感じられます。気分も新たに、学習に取り組めることでしょう。

さて、今年度は、「ちょっとだけむずかしいことにもチャレンジ」、「もっとよくしよう・ほかによい方法はないかなと工夫しようとする態度」、「周りの人にやさしくできる思いやり」を目標に掲げ、一步一步進んでいきたいと思います。この一年が有意義で思い出多い年になりますよう指導に当たっていききたいと思います。ご協力のほどよろしく願いいたします。

担任紹介☆〇〇 〇〇です。今年度も どうぞよろしく お願いします！

〇〇小学校での生活も3年目を迎えました。花と緑に囲まれた〇〇小の元気な子どもたちと一緒に生活できることに喜びを感じています。笑顔いっぱい的一年になるよう、精一杯取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



4月の予定

日	月	火	水	木	金	土
	9 入学式	10 給食開始	11 通学班集会	12 避難訓練 委員会活動	13 1年生を 迎える会	14
15	16 清潔調べ	17 全国学力学習 状況調査(6 年)	18 外国語活動	19 クラブ	20	21
22 学習参 観 一斉下校 14:00 PTA 総会 学級懇談会	23 清潔調べ	24 身体測定3年 家庭訪問 一斉下校 13:30	25 市教育研究会総会 一斉下校 12:45	26 身体測定5・6年 家庭訪問 一斉下校 13:30	27 22日の 振替休業日	28
29 昭和の日	30 振替休日	22日の学習参観・PTA総会・学級懇談会と、24日からの家庭訪問の日程については、後日文書でお知らせいたします。				

学級通信

未来にむかって

〇〇小
〇〇学級
第14号

修学旅行をふりかえって

楽しかったよ、修学旅行

6年 〇〇 〇〇

10月29日に、修学旅行に行きました。朝6時に集合だったので、とてもつらかったです。

まず、一番楽しかったのは、東京タワーです。東京タワーでは、巨人グッズを買いました。

二番目に楽しかったのは、上野動物園です。モノレールに乗りました。

三番目に楽しかったのは国立科学博物館です。レストランでポークカレーを食べました。また行きたいです。

楽しかった修学旅行

6年 〇〇 〇〇

10月29日に、東京へ修学旅行に行きました。

ぼくが、一番楽しかったのは、東京タワーです。グッズショップで、ミニタワー模型（金色）を買いました。

二番目は、上野動物園です。レッサーパンダを見ました。ねていました。

浅草も楽しかったです。

今年の「さつまいも」は、でっかいぞ!



この秋、収穫したさつまいもの数・重さ・長さを、みんなで測ってみました。

(5月に、植えた苗は、15本です)

- ☆ 堀りあげたさつまいもの数.....45本
- ☆ 全部の重さ.....9,659g
- ☆ 一番重いさつまいも.....1,340g
- ☆ 一番長いさつまいも.....38cm

お願い

かぜ予防のため、お茶うがいを行います。2月末まで行う予定です。毎朝、お手数をおかけしますが、水筒の準備をよろしくお願いいたします。